

今週の相場はどうなる？

今週の相場はどうなる？

作成者：山根亜希子

○3月30日～

先週は株価が異常な高騰を見せました。米国の大規模な金融緩和と財政政策を好感したことが大きいです。この2週間で日銀バズーカの年間の金額を超える規模の資金投入が株価高騰の背景にあるようです。

各国が相次いで、金融緩和と財政政策を打ち出していますが現実的な経済指標の数字が出てくるとショック的な下げが起こる可能性もあり、乱高下が続きそうです。経済指標は3月中旬以降の数字を反映しているものに注目してください。

<ドル/円>

ドル/円は111円台の抵抗で頭打ちとなり、反落してきました。

107円を割り込んでくると円高が進みそうです。

F R Bのドル資金の大量投入によりドル買いの動きがおさまりつつあります。

<気になるクロス円>

クロス円も大きく下げているものが多いですが長期的に見ると格安水準にきているものが多いので、動きが落ち着いてきたら長期狙いの戦略も考えたいです。

豪ドル/円はリーマン・ショック後の安値が55円あたりなので、長期投資の目安に。

*クロス円とは円との通貨ペアの総称：〇〇/円というような通貨ペアのことです。

<ファンダメンタル？>

日本では鉱工業生産、日銀短観（1-3月期）などがあります。

米国では、3月シカゴ購買部協会景気指数、3月消費者信頼感指数、ADP雇用統計、3月製造業PMI（改定値）、3月ISM製造業景況指数、2月貿易収支、前週分新規失業保険申請件数、雇用統計、3月サービス業PMI（改定値）、3月ISM非製造業景況指数などが発表されます。

欧州ではドイツとユーロ圏で消費者物価指数、製造業・サービス業PMI（改定値）、ユーロ圏で小売売上高などがあります。

ほかには、英国で10-12月期GDP（改定値）の発表などがあります。